

【Ⅳ. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	<ul style="list-style-type: none"> ・総合型クラブ育成の核となる人材を育成するため、16年度からこれまでクラブマネジャーを338人養成した。 ・総合型地域スポーツクラブの会員総数が15,614人(県民の約1.3%)と前年度から約700人増加した。 ・NPO法人七瀬の里Nクラブや朝地フレンドクラブのようにスポーツ活動や地域おこしに積極的な活動が展開されるようになった。
②	<ul style="list-style-type: none"> ・国体の少年の部において、25年度は前年を26.5点上回る297.5点を獲得するなど、着実に競技力の向上が図られてきている。
③	<ul style="list-style-type: none"> ・大分スポーツ公園利用者は、“観るスポーツ”、“するスポーツ”併せて130万人を超えており、施設の充実によるスポーツ文化の定着が図られてきている。

【Ⅴ. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(25年度事業)	事業コスト(千円)	26年度の実施状況	主要な施策の成果掲載頁
①	地域生涯スポーツ振興事業	10,713	継続	254
	県民スポーツフェスティバル開催事業	20,207	継続	255
②	未来のアスリート発掘・育成事業	15,545	継続	256
	チーム大分強化事業	173,925	継続	257
	スポーツ大分パワーアップ事業	122,000	継続	258
③	緊急雇用地域密着型プロスポーツ普及促進事業	35,259	終了	25

【Ⅵ. 施策に対する意見・提言】

○平成25年度第2回大分県スポーツ推進審議会(H26.3)
 ・小さいときに運動習慣をつけるために、小学校のスポーツ少年団との連携などを具体的に考えていくことが必要。

【Ⅶ. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
C	<ul style="list-style-type: none"> ・総合型地域スポーツクラブのない地域において住民や行政関係者への説明会を開催する等、クラブの創設支援を図る。 ・既設総合型地域スポーツクラブの連絡会、スタッフ研修、指導者育成、関係機関連携等の支援を行い、クラブの充実・発展を図る。 ・県民すこやかスポーツ祭の参加者数増加に向け、期間延長、実施団体拡大、障がい者スポーツ団体や高齢者福祉団体との連携、広報の充実などに取り組む。 ・選手による学校訪問など地域に密着した取り組みを推進することで、プロスポーツチームをより身近に感じ、チーム成績にかかわらず地元チームを応援する機運が醸成され、高度で質の高いスポーツを観る機会が増え、スポーツ人口の拡大が期待される。